

## 経営成績、キャッシュ・フローの状況及び財政状態の分析

2018年度実績、2019年度計画

### 連結損益の概要

#### 2018年度の在庫影響除き経常利益は過去最高を更新

中計の初年度である2018年度の経常利益は前年比202億円減益の967億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年比197億円減益の531億円となりました。なお、在庫影響を除いた実質的な経常利益は前年比115億円増益の1,074億円となり、過去最高を記録しました。

在庫影響を除いたセグメント経常利益の内訳は、石油事業では国内の需給改善により適正マージンを確保したものの、千葉製油所の定期修繕や堺製油所の一部の装置で一時的な不具合の発生などにより、前年比129億円減益の249億円となりました。石油化学事業では、市況の下落と工場の定期修繕の影響による販売量の減少などにより、前年比151億円減益の153億円となりました。石油開発事業では、2018年1月よりヘイル油田でフル生産を開始したことにより生産量が増加したため、前年比386億円増益の569億円となりました。その他事業では、風力発電設備が順調な稼働を継続した結果、前年比9億円増益の103億円となりました。

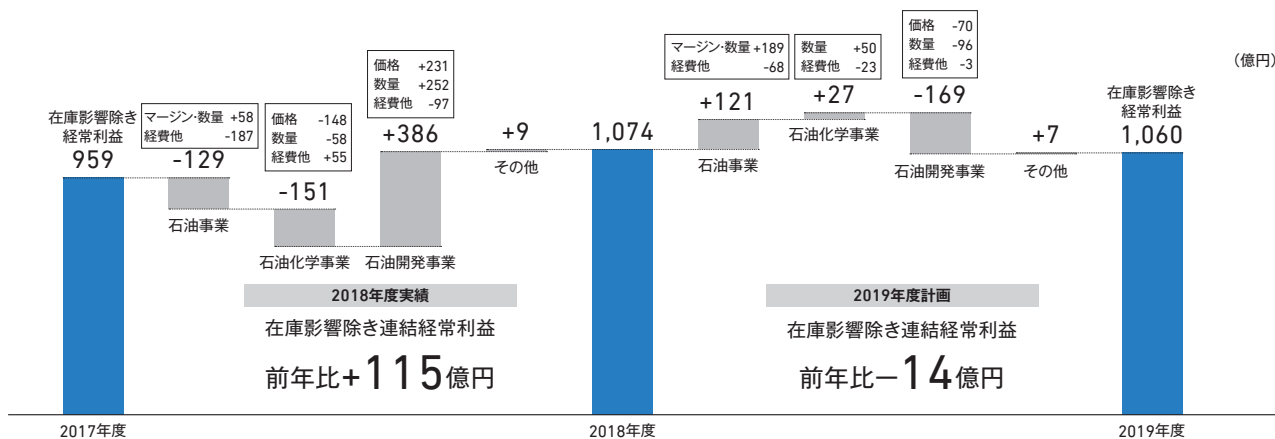
#### 2019年度の見通し

2019年度の経常利益は1,110億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年比69億円増益の600億円を見込んでいます。在庫影響を除いた実質的な経常利益は、前年比14億円減益の1,060億円を見込んでいます。在庫影響を除いたセグメント経常利益の内訳は、石油事業では、販売数量の増加や2018年度に発生した製油所の一部不具合影響の解消などにより前年比では121億円増益の370億円、石油化学事業についても、グループ会社である丸善石油化学のエチレン製造装置が非定修年であることから販売数量が増加し、前年比で27億円増益の180億円を予想しております。石油開発事業では中長期的な生産数量の最大化に備えヘイル油田の生産数量を抑制(※ヘイル油田の生産数量抑制⇒[詳細はP44](#))するため減益を予想しております。その他事業では、4月より度会2期(三重県、2万2千kW)、姫神(岩手県、1万8千kW)両風力発電所の運転開始などにより、7億円増益の110億円を予想しております。

#### 連結損益の概要 前年比

(億円)	2018年度	前年比	2019年度 通期計画	前年比
売上高	27,704	2,473	29,130	1,426
営業利益	947	-172	1,090	143
経常利益	967	-202	1,110	143
在庫影響	-107	-317	50	157
経常利益(在庫影響除き)	1,074	115	1,060	-14
石油事業	249	-129	370	121
石油化学事業	153	-151	180	27
石油開発事業	569	386	400	-169
その他	103	9	110	7
親会社株主に帰属する当期純利益	531	-197	600	69
ご参考				
原油価格(ドバイ)(\$/B)(4-3月)	69	13	65	-4
為替レート(¥/\$)(4-3月)	111	-	110	-1
原油価格(ドバイ)(\$/B)(1-12月)	69	16	65	-4
為替レート(¥/\$)(1-12月)	110	-2	110	-

主な変動要因				
(億円)	2018年度実績		2019年度計画	
	(前年比)	増減要因	(前年比)	増減要因
石油事業	-129	国内の需給改善による適正マージンを確保するも、製油所定修や一部装置不具合及び、将来定修費用引当影響などにより、減益	+121	販売数量の増加や昨年度発生した製油所の一部不具合影響解消等により増益
石油化学事業	-151	市況下落及び、工場定修影響による販売量減少などにより、減益	+27	前年度の定修影響解消により丸善石油化学販売量増加
石油開発事業	+386	ヘイル油田フル生産開始による生産数量増加により、増益	-169	長期的な生産数量を確保するため、ヘイル油田の生産数量を抑制



#### 2018年度実績

### 連結キャッシュ・フロー、連結貸借対照表の概要

#### 財務体質について

2018年度は在庫影響除き経常利益で、過去最高を更新するなど、収益水準は着実に改善しており、中計策定時よりも速いペースでネットD/Eレシオ2倍を切ることができました。2019年度以降も収益機会を確実に享受するとともに、中計目標値であるネットD/Eレシオ1倍台前半の早期実現に向けて、着実に取り組んでまいります。

連結キャッシュ・フロー		
(億円)	2017年度	2018年度
営業活動によるキャッシュ・フロー (1)	1,926	905
投資活動によるキャッシュ・フロー (2)	-964	-845
フリー・キャッシュ・フロー (1+2)	962	60
財務活動によるキャッシュ・フロー	-768	-205
期末のキャッシュ残高	551	407

連結貸借対照表			
(億円)	2018年 3月末	2019年 3月末	増減
総資産	16,883	17,023	140
純資産	3,561	4,019	458
自己資本	2,387	2,811	424
自己資本比率	14.1%	16.5%	2.4ポイント改善
ネット有利子負債 <sup>※1</sup>	6,358	6,447	89
ネットD/Eレシオ(倍) <sup>※2</sup>	2.25	1.98	0.27ポイント改善

※1 有利子負債総額から現預金等を控除したもの  
 ※2 2015年4月1日実行のハイブリッドローン600億円について、50%を資本とみなして算出